

代 表 者

あし
とわ

研 修 報 告 書

令和7年11月5日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

奥田 和夫

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和7年10月24日（金）～10月26日（日）

2. 研修項目

フィールドワーク 愛知県内の軍需産業

なくそう！日米軍事同盟・米軍基地2025年日本平和大会 in 愛知

- ・愛知から見える大軍拡と線総動員体制
- ・大軍拡・戦争国家づくりストップの運動交流

3. 参加議員

日本共産党呉市議会議員団 奥田 和夫

■研修項目

【研修団体及び講師氏名】

日本平和委員会事務局長 千坂純氏
愛知県平和委員会 城下英一氏
神戸女学院大学教授 石川康宏氏

【研修目的】

切実な暮らしの要求と結合した大軍拡反対の国民的大運動
専守防衛から米国と共に先制攻撃する国への重大な転換
日本を「死の商人」国家へと導く武器輸出拡大に反対する運動
弾圧立法「スパイ防止法」に反対する運動

【研修内容 1】

24日（金）愛知県の基地・軍需産業を巡るフィールドワーク

三菱重工は郊外に移転し、大規模な武器製造を行っている。

三菱小牧南工場

ロッキードの下請けで F35 戦闘機の最終組み立て（105機のうち現在45機完成、今後も続く）。

日英伊の設計技術者300人が集まり、次期戦闘機の開発設計。

鉄骨造り6階造。

三菱小牧北工場は12式地对艦誘導弾

現行：全長5m・直径35cm・射程200km

能力向上型：全長9m・胴体幅1m・射程900～1,500km

2025年から配備開始、最初に熊本県の健軍駐屯地、島嶼防衛用

性能向上型：射程3,000km・中距離弾道ミサイル

パトリオットミサイル PAC2/PAC3のライセンス生産⇒米国へ輸出

潜水艦発射誘導弾、12式地对艦誘導弾能力向上型（艦発型）9/1契約

愛知で製造された兵器が海外で人殺しに使われる。兵器の輸出は戦争を助長し、日本国内の経済も破壊する。長射程ミサイルは沖縄・南西諸島・九州、全国に配備される。「死の商人」の実態。

航空自衛隊小牧基地

県営名古屋空港は民間機と航空自衛隊が使用する官民共有の飛行場。管制塔は自衛隊側にあり、輸送機・空中給油機を確認できた。ヘリコプターが轟音を出して離発着が行われており、空港の見学ロビーでの説明者の声を聞きとることができない。

【研修内容 2】

25日（土）愛知から見える大軍拡と戦争動員体制

愛知の軍機産業について説明をうけ、戦争する国づくりに組み込まれた輸送体制の実態なども学ぶ。

【研修内容3】

26日（日）大軍拡・戦争国家づくりストップの運動交流

「安保3文書」のもとで、米軍と自衛隊の一体化。各地の基地強化や訓練、基地強化や訓練。「戦争国家づくり」が強行されている。これらの動きの震源地である日米同盟への国民的不信、批判が急速に高まっている。この状況をどう見るかを学び、戦いの大局的展望をつかむ。

【呉市での展開の可能性】

横須賀基地の新型護衛艦、最新鋭の潜水艦など説明をうけた。

ウクライナとロシアの交戦状態が航空にもたらす影響など質問。日本がアメリカだけでなく、他の国々と有効な関係を外交面で築く必要性を強く感じた。

ゾーニング最終案の「民間企業誘致」の個所が単に「民間企業」と喜べないものになることが学習を通して感じた。「無人機製造整備」も同様。

「死の商人」の拠点にさせないように、広く学習を重ね、市民の間で深めていかなければと強く思いました。